

踊場湿原（池のくるみ）

所在地	長野県諏訪市霧ヶ峰	種類	湿原
<写真>			
			
概要			
<p>踊場湿原は、池のくるみとも呼ばれ、標高 1,531mのところであり、東西約 820m、南北 100mと細長い湿原である。泥炭層は約 2.5mと幼齢であるが、低層湿原から高層湿原への移行の様子を見ることができる。この湿原で興味深いのは、谷地坊主(ヤチボウズ)といって、直径 0.5mほどの泥炭の上にスゲが生えた塊状のものが見られることである。この一帯は、八ヶ岳中信高原国定公園の特別保護地区と国の天然記念物にも指定されている。</p>			
水質・水量			
周辺環境			
<p>湿原周辺の水路および池の周囲には、この湿原にしか見られないエゾナミキソウがあり、分布の南限となっている。これは草原との境にあって、湿原の周囲全体に分布している。また、周辺の草原には、数は少ないがここにだけ見られるゴマノハグサやエゾミソハギも周辺の所々に小群落を作っている。このほか、ミズチドリ・オオヤマサギソウ・ナガミノツルコケモモ・シロバナツルコケモモ・ヒメナミキソウがある。</p>			
利用状況			
<p>踊場湿原は、霧ヶ峰地域の中でも静かな景観を楽しむことできる場所として有名である。</p>			

霧ヶ峰特有の植生である草原、湿原、森林を一度に体感できる数少ない場所である。訪れる方も限られているため、霧ヶ峰の素晴らしさを思う存分体感することができる。

水環境保全活動

地元事業者やボランティア、地権者が自らこの地域を保護している。ボランティアの方々からは地域の清掃活動や巡回パトロールにご協力をいただき、水源の保護や霧ヶ峰の素晴らしい景観の維持に努めている。

故事来歴

踊場湿原は、昭和 7 年に池のくるみスキー場として賑わっていた場所でもある。現在は利用されていないがスキージャンプ台の痕が残される場所もあるなど、日本のスキー場のさきがけとしても有名である。

アクセス

中央道諏訪 IC から車で 30 分

JR 中央本線上諏訪駅からタクシーで 30 分

<マップ>



お問い合わせ

諏訪市市民部生活環境課

〒 392-8511 長野県諏訪市高島 1-22-30

TEL : (0266) 52 - 4141

E-mail : kankyou@city.suwa.nagano.jp

当該湧水等の URL